

秋田県教育委員会

1

現在のセミナー形式となった経緯

秋田県教育委員会では、これまで生涯生活設計に役立つ経済等の知識、情報に関する講座や生活習慣病予防等の健康に関する講座を、講師を招き秋田県内3会場で開催しておりました。

しかし、会場の収容人数等により講座参加者が抽選となってしまうことが多く、昨今ではコロナ禍によりさらに制限されてしまいました。

このような状況にあって、より多くの職員に生涯生活設計の支援となる講座に参加してほしいと思っていたところ、教職員生涯福祉財団の生涯（経済）生活設計セミナーWEB型があることを知りました。

そこで、令和4年度は会場への移動がなく時間や場所に制限がない生涯（経済）生活設計セミナーWEB型を利用し講座を開催することとしました。

2

セミナーの実施内容

令和4年度のニューライフプラン講座は教職員生涯福祉財団が提供する生涯（経済）生活設計セミナーテキストに沿って受講するWEB型で実施しました。

ニューライフプラン講座

開催日時 / 令和4年8月1日(月)～8月21日(日)

※期間中はいつでも動画が視聴可能

対象者 / 公立学校共済組合員
秋田県教育関係職員互助会員
上記組合員・会員の被扶養者及び配偶者
(被扶養でない配偶者も可)

実施プログラム

(1)生涯生活設計セミナー〈退職準備型プログラム〉

○講座内容

- ①「健康」「生きがい」
～退職後の健康プラン・生きがいプラン～
視聴時間：約60分
- ②「公的年金・医療保険」
～公的年金・退職後の医療保険～
視聴時間：約60分
- ③「経済生活」
～退職後の経済生活プラン～
視聴時間：約60分／参加者数：163人

(2)経済生活設計セミナー〈経済生活設計型プログラム〉

○講座内容

- ①ライフイベントごとの必要経費と資産形成・保険
視聴時間：約60分
- ②(住宅)ローン・経済生活設計表の作成・福利厚生制度
視聴時間：約60分／参加者数：76人

3

工夫した点

より多くの方々に受講いただけるよう学校の夏季休業期間中に合わせて開催しました。

例年同じ時期に対面方式で開催していましたが、今回は動画配信であるため、気軽に都合のよいタイミングで受講できるよう、期間を3週間に設定しました。

講座内容は、50歳代後半以降向けの退職準備型と20歳代～30歳代向けの経済生活設計型とし、幅広い世代に参加してもらうようにしました。

秋田県教育委員会では、

公立学校共済組合秋田支部と一般財団法人秋田県教育関係職員互助会との共催で
ニューライフプラン講座を開催しています。



4

参加者の反応・アンケート結果

多くの参加者から時間、場所に制限がないWEB型の受講形式について好評をいただいています。

また、動画配信形式では、何度も動画を見返すことができる点で、よい評価につながったようです。内容についても、テキストに沿って説明いただけるため分かりやすく、今後の経済生活プランをイメージするきっかけになったかと思えます。

さらには、業務にたずさわる職員も夏季休暇が取得しやすくなり、職員のワークライフバランスの改善にもつながったようです。

○アンケート結果

(1)生涯生活設計セミナー〈退職準備型プログラム〉

- ・退職後の生活設計をしっかりたてることの必要性を痛感した。
- ・今まで漠然と考えていた退職後の生活設計、特に資金面について具体的に考えるよい機会になった。
- ・年金や保険における留意点が理解できた。
- ・公的年金・退職後の医療保険について、分かりやすい資料をもとに説明いただけた。

(2)経済生活設計セミナー〈経済生活設計プログラム〉

- ・iDeCo、つみたてNISAなど興味ある内容について分かりやすく説明されておりよかった。
- ・経済生活設計や資産寿命をいかに延ばすかなどについて情報を得ることができた。
- ・今後の生活設計をたてる上で参考になった。
- ・年齢別の経済生活の準備方法を知ることができた。

(3)生涯生活設計セミナー〈退職準備型プログラム〉と経済生活設計セミナー〈経済生活設計プログラム〉共通

- ・好きな時間に何回も受講することができてよかった。
- ・時間の融通が利くこと、聞き逃しを戻って聞ける、途中で停止できるなどこちらの都合に合わせて受講できた点が大変よかった。
- ・是非20代～30代の方に進んで受講してもらいたい内容であった。

- ・WEB形式での講座はとても受講しやすく都合のいい時に都合のいい場所で何回も見られる形式でよかったです。次回もこの形式であれば受講すると思います。配信期間がもう少し長いとさらにありがたいです。

5

今後の課題

今回、動画配信という形で講座を開催した結果、例年より多くの方々に参加していただけたことはよかったと感じております。しかしながら、これまでの対面方式での講座に比べ全体としては20歳代、30歳代の参加者が増えたものの、経済生活設計セミナーについては予想数を下回る結果となり、より多くの若い世代に早い段階からライフプランに興味を持ってもらい、講座に参加していただけるよう周知していくことが必要であると感じています。

また、WEB型の講座では対面式の講座と違い、その場で講師との質疑応答や他の参加者との情報共有ができず、自身の考え、解釈について不安になるという声もいただいています。

コロナ禍にあつて、社会全体がテレワーク、WEB会議等さまざまな面でデジタル化が進んだことにより、WEB形式への抵抗も世代を問わずなくなり、こういった方法がスタンダードとなりつつあります。

これらの現状や受講者のニーズを考慮し、対面形式の講座も開設することや、より幅広い世代を対象とした講座となるようさらに教職員生涯福祉財団の生活設計型プログラム（40歳代～50歳代向け）を取り入れることなど、今後の講座のあり方を検討していきたいと思っています。

年金制度の法改正や定年延長等、日々変化する昨今の情勢において、生涯生活設計は重要になってきていると感じております。職員の生涯生活設計を支援するため、今後も公立学校共済組合秋田支部及び一般財団法人秋田県教育関係職員互助会と共に事業に取り組んでいきたいと考えています。

(秋田県教育庁福利課 主事 渡部 雅之)